

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年11月 4日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 河 野 広 和

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年11月19日から 令和 7年11月26日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 7年12月 2日 午前 9時30分 福岡地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 7年12月17日 午前 9時50分 福岡地方裁判所第4民事部
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則33条）		☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。同証明書の交付については、物件所在地の農業委員会にお尋ね下さい。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年11月 4日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1,2	24,310,000 19,448,000	一括	4,862,000	62,417	24,585
1	21,480,000				
2	2,830,000				
					</



物 件 目 録

1 所 在 福岡市南区屋形原二丁目

地 番 104番

地 目 宅地

地 積 249.25平方メートル

共有者 株式会社65ホールディングス 持分3分の2

共有者 A 持分3分の1

2 所 在 福岡市南区屋形原二丁目104番地

家屋 番号 104番

種 類 居宅

構 造 木造セメント瓦葺2階建

床 面 積 1階 53.58平方メートル

2階 26.49平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 約66.58平方メートル

2階 26.49平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 居宅

構 造 木造セメント瓦葺平家建

床 面 積 13.24平方メートル

共有者 株式会社65ホールディングス 持分3分の2

共有者 A 持分3分の1



物件明細書

令和 7年10月17日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 藤 本 奈津子

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし.

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1, 2】

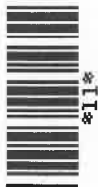
本件共有者らが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。



- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 所 在 福岡市南区屋形原二丁目

地 番 104番

地 目 宅地

地 積 249.25平方メートル

共有者 株式会社65ホールディングス 持分3分の2

共有者 A 持分3分の1

2 所 在 福岡市南区屋形原二丁目104番地

家屋 番号 104番

種 類 居宅

構 造 木造セメント瓦葺2階建

床 面 積 1階 53.58平方メートル

2階 26.49平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 約66.58平方メートル

2階 26.49平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 居宅

構 造 木造セメント瓦葺平家建

床 面 積 13.24平方メートル

共有者 株式会社65ホールディングス 持分3分の2

共有者 A 持分3分の1



令和7年（ケ）第104号
令和7年8月12日受理
令和7年9月29日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所

執行官 井手 義治

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 福岡市南区屋形原二丁目

地 番 104番

地 目 宅地

地 積 249.25平方メートル

共有者 株式会社65ホールディングス 持分3分の2

共有者 A 持分3分の1

2 所 在 福岡市南区屋形原二丁目104番地

家屋 番号 104番

種 類 居宅

構 造 木造セメント瓦葺2階建

床 面 積 1階 53.58平方メートル

2階 26.49平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 居宅

構 造 木造セメント瓦葺平家建

床 面 積 13.24平方メートル

共有者 株式会社65ホールディングス 持分3分の2

共有者 A 持分3分の1

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	福岡市南区屋形原二丁目7番11号		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☒ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地共有者 ☐ その他の者 上記の者らが本件土地上に下記建物を所有して占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☒ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☒ 床面積：1階 約66.58㎡（約13㎡増築） 2階 26.49㎡		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積： }		
占有者及び占有状況	☒ 建物共有者 ☐ その他の者 上記の者らが本件建物を居宅（空き家）として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日 }		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■共有者A	1 本件建物(主たる建物)及び附属建物については、現在、空き家の状態になっていると思います。 2 他の共有者とは何の関係はなく、賃料等のやり取りや取り決めは特にありません。 3 本件土地について、隣地との境界に争いはないと思います。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■ 1 (接道)

本件土地は、公図のとおり、公道(162番1, 105番(地目はいずれも宅地))に接道している。

2 (形状等)

本件土地には現地復元性を有すると思われる図面が存在する。しかし、境界と思われる付近には一部コンクリートブロック塀等が存在するものの境界標等は確認できなかった。

3 (占有状況等)

本件建物(主たる建物)及び附属建物の占有状況等については、関係人の陳述、立入調査の結果等から2枚目記載のとおりと認めた。

4 (損傷等)

本件建物(主たる建物)及び附属建物については、全体的に経年によると思われる壁クロス等の汚損等が見受けられた。特に、附属建物は相当に老朽化が進んでおり、ドア、窓等が大きく破損している部分がある。また、本件建物(主たる建物)2階北側洋室の床にやや傾きが感じられた。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R 7 年 8 月 12 日 (火) 11:00 - 11:10	執行官室	建物図面請求
R 7 年 8 月 19 日 (火) 13:00 - 13:20	物件所在地	現地特定, 写真撮影
R 7 年 8 月 19 日 (火) 16:00 - 16:20	福岡法務局	公図, 地積測量図等の調査
R 7 年 9 月 5 日 (金) 8:30 - 8:40	執行官室	占有状況等について共有者Aに対し書面照会
R 7 年 9 月 9 日 (火) 11:00 - 11:50	物件所在地	立入調査, 写真撮影
R 7 年 9 月 19 日 (金) 11:00 - 11:30	執行官室	占有状況等について共有者Aから電話聴取

(特 記 事 項)

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。
解錠することができなかった。

☒ 令和7年9月9日
目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人Bを立ち会わせ, 解錠技術者に解錠させて,
建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

☐

(注) チェック項目中の調査結果は, 「☒」の箇所の記載のとおり



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	福岡市南区屋形原二丁目				地番	104番		
出力縮	縮尺不明	精度	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年8月19日
福岡法務局

請求番号：70-1
(1/1)

(6枚目)

A 4 判に縮小

公用

登記年月日：昭和39年8月27日

公用

前105 後新 96, 152569 昭和39年8月27日

23330.193.184.195

福岡市大字屋形原字サカエ

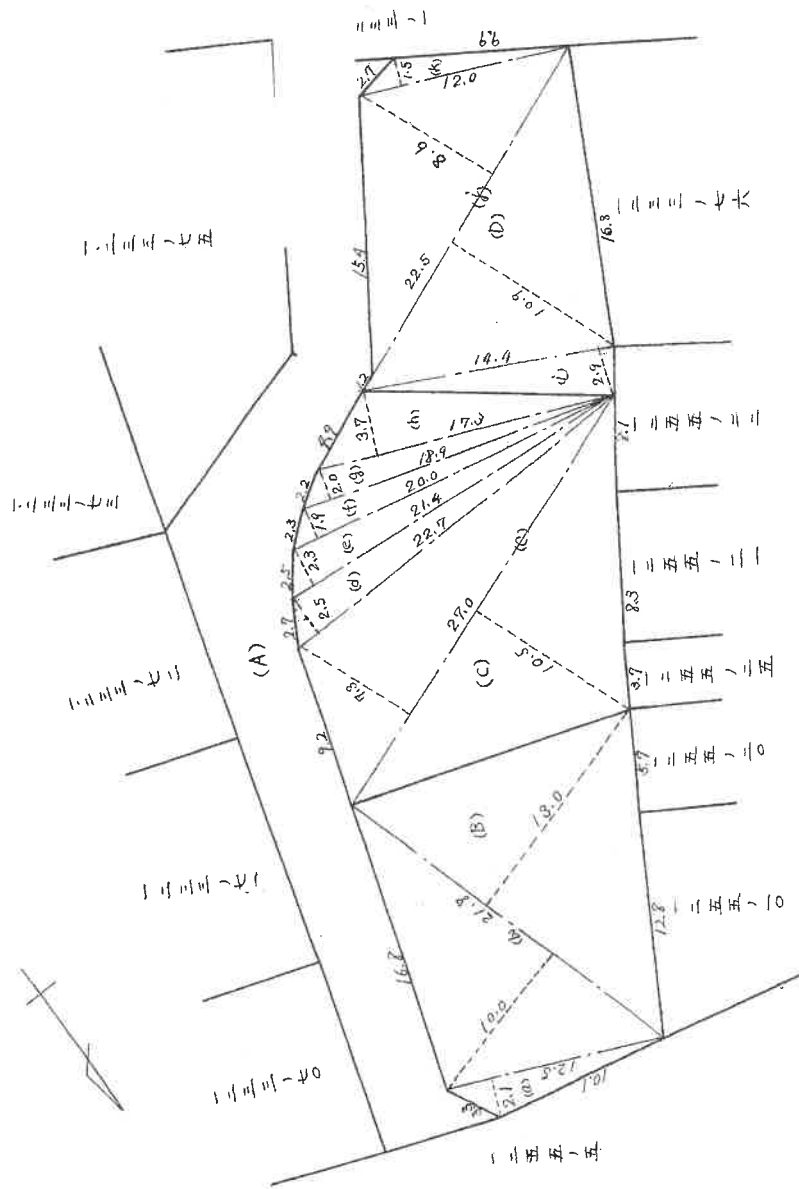
障子半壁区画図

図面 図面 図面

昭和参拾九年 八月拾八日
製作 年 月 日
製作者

申請人

B
(a) $12.5 \times 2.1 = 26.25$
(b) $21.8 \times (10.0 + 13.0) = 501.40$
計 $26.25 + 501.40 = 527.65 \text{ m}^2$
(c) $27.0 \times (7.3 \pm 10.5) = 480.60$
(d) $22.7 \times 2.5 = 56.75$
(e) $21.4 \times 2.3 = 49.22$
(f) $20.0 \times 1.9 = 38.00$
(g) $18.9 \times 2.0 = 37.80$
(h) $17.3 \times 3.7 = 64.01$
計 363.19
D
(i) $14.4 \times 2.9 = 41.76$
(j) $22.5 \times (10.9 + 8.6) = 438.75$
(k) $12.0 \times 1.5 = 18.00$
計 249.25
498.51 m²
75.39 坪



(全国土地家屋調査士会連合会用紙)

縮尺 1/300

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年8月19日 福岡法務局

登記年月日：昭和40年6月12日

公用

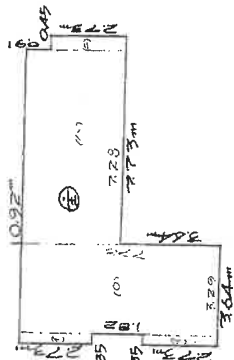
648370

家屋番号

建物の所在

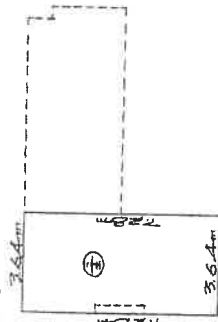
徳島県吉野郡吉野町吉野111番地104

1丁B



1) $10.92\text{m} \times 0.35\text{m} \times 2 = 7.52\text{m}^2$
2) $3.20\text{m} \times 7.28\text{m} = 23.296\text{m}^2$
3) $7.28\text{m} \times 3.64\text{m} = 26.5072\text{m}^2$
4) $3.64\text{m} \times 3.29\text{m} = 11.9756\text{m}^2$
計 53.5888m^2

2丁



$7.28\text{m} \times 3.64\text{m} = 26.5072\text{m}^2$

附属建物



$3.64\text{m} \times 3.64\text{m} = 13.2496\text{m}^2$

縮尺

1/200

1/500

(全国土地家屋調査士会連合会用紙)

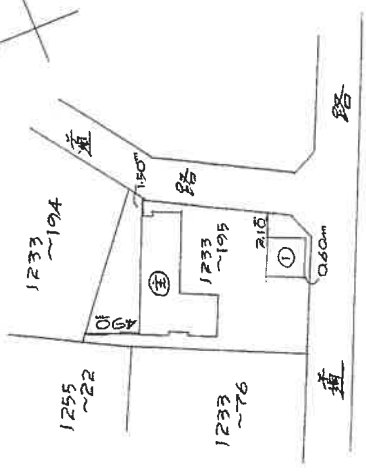
建築物平面図

648370

製作年月日
昭和40年6月12日

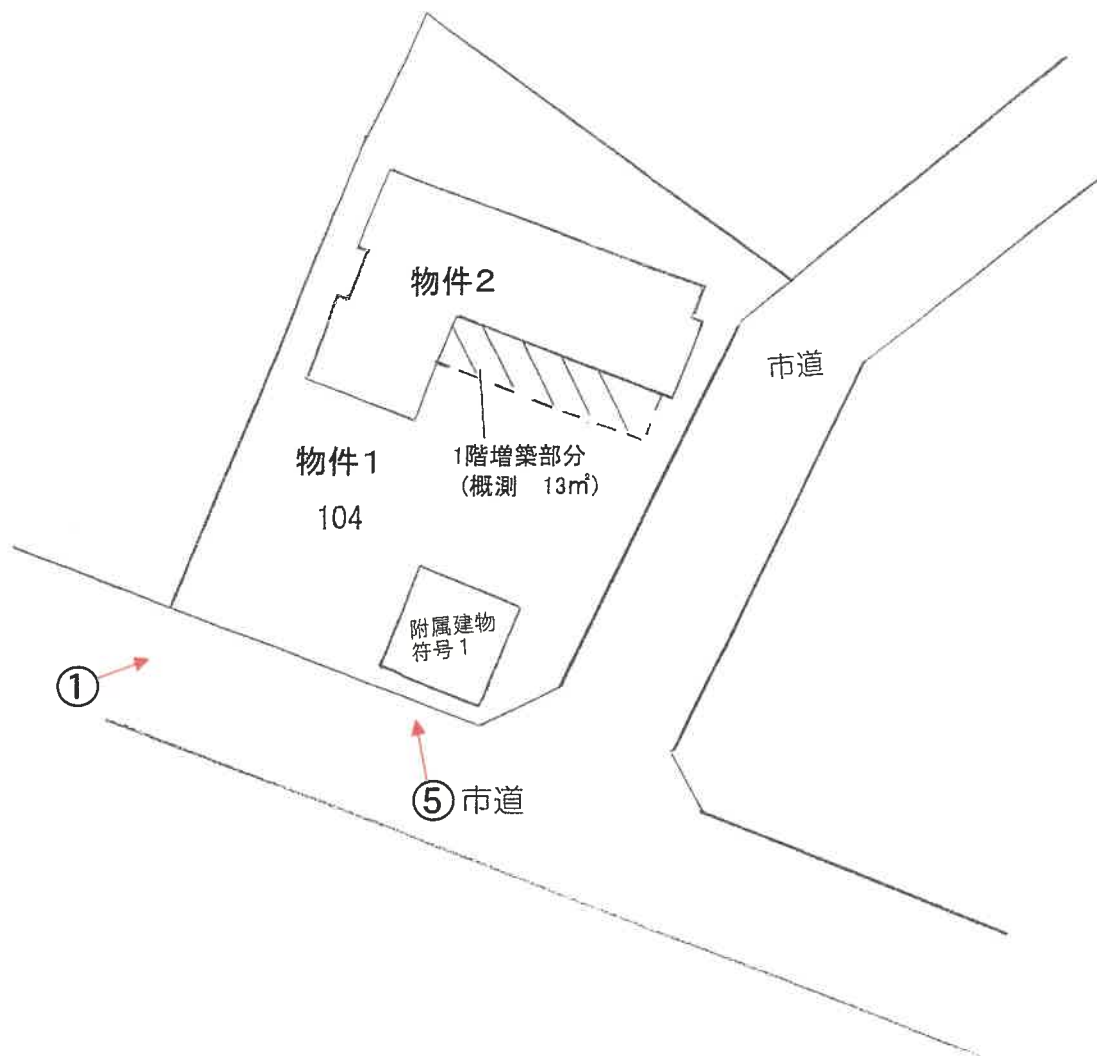
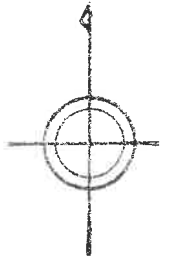
製作者

申請人



土地建物位置関係図

写真撮影位置方向

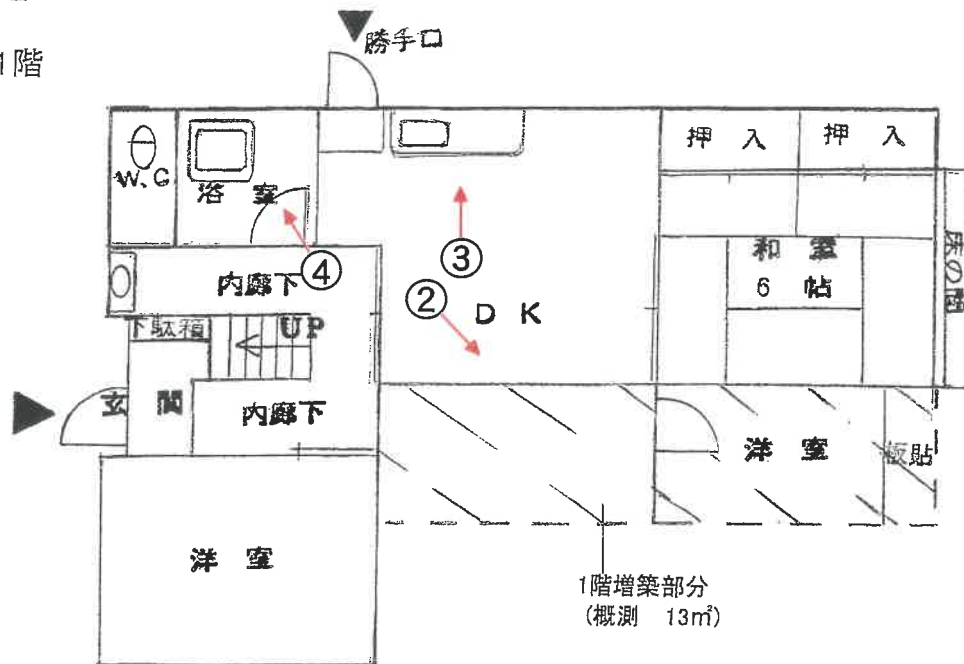


間 取 図

↑ 写真撮影位置方向

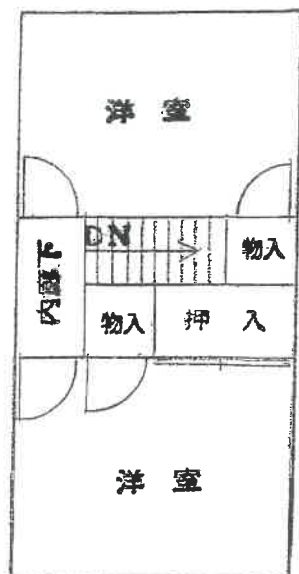
物件2

1階



増築部分

2階



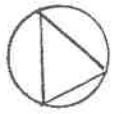
間 取 図

↑ 写真撮影位置方向

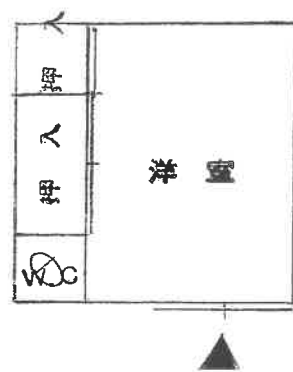
物件2

附属建物

符号1



⑥ →





No. 1

本件土地及び建物を撮影



No. 2

本件建物の室内を撮影



No. 3

本件建物の室内を撮影



No. 4

本件建物の室内を撮影



No. 5

附属建物を撮影



No. 6

附属建物を撮影

令和 7 年（ケ）第 104 号
令和 7 年 9 月 9 日 現地調査
令和 7 年 9 月 29 日 評 価

福岡地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

税 田 健 司

第1 評価額

一括価格	
金 24,310,000 円	
内訳価格	
物件1（土地）	金 21,480,000 円
物件2（建物）	金 2,830,000 円

- ① 一括価格は、物件1～2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については、原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	福岡市南区屋形原二丁目 104 番 宅地 249.25㎡	特記事項のとおり
2	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積 (附 属 建 物) 符 号 種 類 構 造 床 面 積	福岡市南区屋形原二丁目104番地 104 番 居宅 木造セメント瓦葺2階建 1階 53.58 ㎡ 2階 26.49 ㎡ 1 居宅 木造セメント瓦葺平家建 13.24㎡	1階に未登記の増築がある。 登記床面積 未登記 増築床面積 1階 53.58㎡ + 概測13㎡ = 66.58㎡ 2階 26.49㎡ = 26.49㎡ 計 93.07㎡
番号	特 記 事 項		
1	地積については、建物が存する現地の状況等により正確に確認できないが、地積測量図があり、同図と現況が概ね符合するので、登記地積を採用して評価した。		
住 居 表 示		福岡市南区屋形原二丁目7番11号	

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	西鉄天神大牟田線「高宮」駅の南西方、約3.0km。 西鉄バス「東花畑小学校前」停留所の北東方、190m。 (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	対象物件の所在する近隣は、南区南西部郊外に存する小中規模の戸建住宅のほか、アパート等も一部混在する既成の住宅地域である。地域内は街路の連続性がやや劣るが、福岡外環状道路が南側至近を東西に走り、都市高速道「野多目ランプ」も近い為、都心をはじめ各地への交通アクセスが優る。近年の金融緩和に起因する地価高騰の影響も受け、地価は比較的高い上昇となっているが、漸次上昇率の縮小傾向で推移していくものと予測する。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都 市 計 画 区 分	市街化区域
	用 途 地 域	第二種住居地域
	建 ぺ い 率	60%
	容 積 率	200%
	防 火 規 制	地域指定なし
	そ の 他	第二種20m高度地区
画 地 条 件	地 積	249.25㎡ (登記地積)
	形 状	ほぼ長方形 (別添「地積測量図(写)」参照。)
	間 口	約12.5m
	奥 行	約18.0m
	接 道 関 係	角地
接 面 道 路 の 状 況	南西側で幅員約4mの舗装市道と0～0.5m高く接面（建築基準法第42条第1項の道路に該当）。 南東側で幅員約4.3mの舗装市道と0.5～2.5m高く接面（建築基準法第42条第1項の道路に該当）。	
土地の利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : あり ガス配管 : あり 下 水 道 : あり (注) 敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みが有る場合、「なし」とは引き込みが無い場合である。	
特 記 事 項	・現地調査、関係者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では、埋蔵文化財包蔵・土壌汚染をうかがわせる事実は認められなかった。	

2. 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：昭和40年6月5日 新築 年月日不詳 一部増改築 経 過 年 数：約 61 年 経済的全耐用年数：約 30 年 経済的残存耐用年数：約 0 年
仕 様	構 造：木造2階建 屋 根：セメント瓦葺 外 壁：モルタル塗、サイディング貼 ほか 天 井：合板、ビニールクロス貼 ほか 床：フローリング、タタミ ほか 内 壁：合板、ビニールクロス貼 ほか 設 備：電気、ガス、給排水設備 等 そ の 他：
床面積（現況）	1階に未登記の増築部分があり、登記上の床面積より概測13㎡大きい。
現 況 用 途 等	現 況 用 途：居宅 間 取 り：5DK（別添「間取図」参照。）
品 等	使用資材：普通 施工状態：普通
保守管理の状態	保守管理はやや劣る。 2階の北西側洋室の一部に傾きが感じられる。全体に壁クロスの汚損など経年相応の老朽化が認められる。
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	・建物に付属する各種設備については、動作確認まではできないため、使用可能かどうか不明である。

2. 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	附属建物 符号1
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：年月日不詳 但し、新築後60年以上経過と判断する。 経過年数：約 60 年以上 経済的全耐用年数：約 30 年 経済的残存耐用年数：約 0 年
仕 様	構造：木造平家建 屋根：セメント瓦葺 外壁：モルタル塗 天井：板貼 床：合板 内壁：しっくい ほか 設備：電気、給排水設備 その他：
床面積（現況）	未登記の増築並びに滅失部分はなく、登記上の床面積とほぼ同様である。
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：洋室一間（別添「間取図」参照。）
品 等	使用資材：やや劣る 施工状態：やや劣る
保守管理の状態	保守管理は劣る。 老朽化が進み、ドア、窓等は大きく破損している。
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特記事項	・建物に付属する各種設備については、動作確認まではできないため、使用可能かどうか不明である。

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	149,000	1.02	249.25	0.90	34,090,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。（以下同じ）

ア 標準画地価格：基準地「福岡南(県)－19」の地価調査価格等と比準して査定した。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{地価調査価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 148,000\text{円/㎡} & \times & \frac{106}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{105} & = & 149,000\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時 点 修 正：地価調査価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正：補正要因なし 1.00

◇ 地 域 格 差：街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
1.00 × 1.05 × 1.00 × 1.00 = 1.05

イ 個 別 格 差：角地 個別格差
1.02 = 1.02

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物と敷地との適応の状態、将来発生する解体費用等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ×エ
2(主)	160,000	93.07	0.04	600,000
附属建物 符号1	120,000	13.24	0.02	30,000
			計	630,000

ウ 現価率：（査定）

物件2は、主たる建物、附属建物共に建築後60年以上を経過しており、既に経済的耐用年数を満了している。従って、残価率5%を基本に、観察減価法により保守管理の状態等を考慮した減価も勘案して現価率を査定した。

	残価率		観察減価		現価率
物件2(主)：	0.05	×	(1-0.2)	=	0.04
附属建物符号1：	0.05	×	(1-0.6)	=	0.02

2. 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	34,090,000	0.10	場所的利益	3,410,000

イ 土地利用権等割合： 土地利用権等を場所的利益と判定し、その割合を10%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	34,090,000	－ 3,410,000		1.00	0.70	21,480,000
2	630,000	＋ 3,410,000	1.00	1.00	0.70	2,830,000
一 括 価 格 (合 計)						24,310,000

ウ 占有減価修正： 修正の必要は無い。

エ 市場性修正： 修正の必要は無い。

オ 競売市場修正： 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地 価 調 査 価 格 : 基準地「福岡南(県)－19」
所 在 : 福岡市南区若久6丁目836番5
住 居 表 示 : 「若久6－53－3」
価 格 : 148,000 円/㎡ (対前年変動率 +8.0%)
価 格 時 点 : 令和7年7月1日
地 積 : 171 ㎡
地 域 の 概 要 : 小規模一般住宅が建ち並ぶ住宅地域
接 面 街 路 : 北東側幅員約 5 m市道に接面。
供 給 処 理 施 設 : 水道、ガス、下水
位 置 : 天神西鉄大牟田線「高宮」駅の南方、道路距離2.8km。
用 途 指 定 等 : 第一種低層住居専用地域 (建ぺい率 50%、容積率 80%)

第7 附属資料の表示

1 位置図	2 葉
2 公図(写)	1 葉
3 地積測量図(写)	1 葉
4 建物図面(写)	1 葉
5 土地・建物位置関係図	1 葉
6 間取図	2 葉
7 現況写真	2 葉

(B I T用は位置図及び現況写真のみ添付。その他は現況報告書を参照)

以 上



